

アルジャーノンに花束を

ダニエル・キイス

知的障害者のチャーリーは、かしこくなって

周りの友達と同じようになりたいと思っていた。

ある日、開発されたばかりの脳手術を受ける。

それをきっかけに知りたくもない過去を知ることになる。

『本当に賢くなるのは幸せなことなのか？』

と読者にといかける本となっている。

